

小松市奨学金支給審査委員会について

次のことについて議決を求める。

1. 目 的

教育の機会均等を図り，有用な人材を育成するために，
経済的理由により高等学校及び高等専門学校へ進学困難な者
に対し奨学金を支給し，その才能を育成するもの。

2. 対 象 者

- (1)本市に居住している者
- (2)品行方正であって学業意欲旺盛な者
- (3)高等学校及び高等専門学校に進学する者又は在学中の者
- (4)学資が乏しい者

3. 審 査 会

- (1)学校長から推薦のあった者について，小松市奨学金支給審査委員会(※)による審議を経て，教育委員会が市長と協議し決定

※ 小松市奨学金支給審査委員（案）

委員長	小松市立中学校長会 会長
	小松市立PTA連合会 会長
	民生委員児童委員協議会 会長
	小松市立高校 校長
	小松市健康福祉部 部長

- (2) 審査委員会 令和7年2月上旬（予定）

4. そ の 他

支給人数	令和6年	68人
	令和5年	67人
	令和4年	59人

令和6年度小松市社会教育賞について

令和6年度小松市社会教育賞被表彰候補者の推薦について、議決を求める。

記

たかやま あきら
高山 章



おだ なおと
小田 直人



ほんだ たかし
本多 孝志



■選考委員会 期日：令和6年11月21日（木）

■贈呈式 期日：令和7年2月1日（土）13時30分～

会場：小松市團十郎芸術劇場うらら 小ホール（予定）

令和 6 年度 小松市社会教育賞被表彰候補者（一覧）

氏名・住所・生年月日 (推薦団体)	功 績
たかやま あきら 高山 章 [Redacted Address] (小松市立栗津小学校)	栗津校下の保育園で監事や評議員を務め、また 20 年近く栗津校下公民館主事を務め地域発展に貢献した。さらに、県の学校安全指導員、消費者生活推進員、男女共同参画推進員として活躍してきた。平成 10 年からわがまち防犯隊員として子どもたちの安全を見守り、その他にも栗津小学校の読み聞かせボランティアなど多様な活動を通して、地域の発展と子どもたちの健全育成に長年尽力している。
おだ なおと 小田 直人 [Redacted Address] (小松市立木場小学校)	平成 25 年から木場小学校の同窓会長として活動し、毎年 6 年生に地域の大切さを伝えている。令和 5 年度の「木場小学校創立 150 周年記念事業」では実行委員長として、地域を巻き込んだ行事を展開するなど、地域と学校の連携に努め地域活性化及び教育力の向上に貢献している。また、令和 3 年からは木場校下のスポーツ協会の会長を務め、学校のスキー教室では講師として長年指導に尽力している。令和 6 年度には県のスポーツ推進委員協議会理事長も務め、地域スポーツの発展に寄与している。
ほんだ たかし 本多 孝志 [Redacted Address] (小松市立荒屋小学校)	あけぼの町で、公民館やスポーツ協会等の様々な役職を歴任した。コロナ禍収束後の令和 4 年から 2 年間、校下公民館長として地元の伝統行事の存続に貢献した。また、16 年間にわたる板津中学校のソフトテニス部の指導のほか、荒屋小学校のテニスクラブ活動やニュースポーツクラブの立ち上げ、放課後児童クラブのスポーツ教室の指導にも尽力した。平成 16 年からは、荒屋小学校に設置された 12 槽の熱帯魚水槽を管理し、飼育活動を通して子ども達に様々な学びや楽しみを伝えている。

令和6年度小松市社会教育大会について

1. 趣旨

社会教育に関わる団体が一堂に会し、互いに称え、共に学び、共有することで、小松市の社会教育、生涯学習を推進するとともに、地域の活性化にも資する。

2. 日時

令和7年2月1日（土） 13：30～15：00

3. 会場

小松市團十郎芸術劇場うらら 小ホール（予定）

4. 日程

時間	内容
13:30～	■社会教育賞贈呈式 開式 選考経過報告 式辞（市長） 挨拶（教育長） 表彰状授与 祝辞（議長） 謝辞 閉式
14:00～	■講演 講師 小松市教育長 山本 民夫

5. 被表彰候補者

小松市社会教育賞・・・3名